

佐賀駅周辺整備調査特別委員会

令和2年5月26日（火）

午前10時00分～午後0時12分

議会第1会議室

【出席委員】山下伸二委員長、永渕史孝副委員長、中村宏志委員、御厨洋行委員、  
富永明美委員、宮崎 健委員、白倉和子委員、福井章司委員、  
重田音彦委員、平原嘉徳委員、嘉村弘和委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】山下明子議員

【執行部出席者】武藤佐賀駅周辺整備構想推進室長  
大串企画調整部長  
ほか、関係職員

【案 件】

・佐賀駅周辺整備関連事業に関する諸種調査

○山下伸二委員長

おはようございます。

それではただいまから、第3回の佐賀駅周辺整備調査特別委員会を開催させていただきます。

4月20日に第3回を予定しておりましたけれども、御承知のような状況で本日に延期させていただきます。

まず、マスコミのほうからテレビカメラの撮影の申し出がっておりますけれども、許可をしてよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、許可をいたします。

次に、平原議員が遅参されるという連絡が入っておりますのでおつなぎをしておきます。

それから、本日の次第について、まず、お手元のレジメについて皆様にお諮りさせていただきます。

まず、執行部のほうから佐賀駅周辺整備事業に関する諸種調査について、3項目について御報告を受けたいと思っております。これは、前回、第2回の委員会で委員の皆様から御指摘があった今後説明を求めたいといった点についても、報告を受けたいと思っております。

その後、質疑を行いまして、本日はコムボックス外観周辺と、それから佐賀駅前の広場、これ北口、南口ですけれども、その状況について、委員の皆さんで現地視察を行いたいと思っております。

その後、この会議室に戻ってまいりまして、本日の現地視察についての委員間討議、そし

て、今後の委員会の進め方についての委員間討議を行いたいというふうに思っております。

大体 12 時ぐらいを目途に終了させていただきたいと思っておりますけども、この進め方でよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それではよろしく願いいたします。

それでは、執行部からの説明を求めます前に、4 月の人事異動で、職員が変わっておられますので、職員の紹介をお願いいたします。

#### ◎職員紹介

はい、それではよろしく願いいたします。

それでは、レジュメに沿って、会議を進めさせていただきます。

まず、佐賀駅周辺整備について、3 項目、執行部のほうから説明を求めたいと思います。

#### ◎佐賀駅周辺整備事業について 説明

##### ○山下伸二委員長

それでは、ただいま 3 項目について説明を受けましたので、質疑につきましては、項目を区切って行わせていただきたいと思います。

まず、1 番目の佐賀駅前広場の整備について、皆さんからの御質疑をお受けしたいと思っております。

##### ○白倉委員

まず、交通状況の説明を、十分に社会実験の上で余裕があると……

##### ○山下伸二委員長

済みません。区切りますので、まず(1)番の佐賀駅前広場の整備について。

##### ○宮崎委員

水景施設の件ですけれども、今、検討をされている途中ということだと思いますが、まちなかで結構その水景施設をいろいろと作りはしたものの、うまく現状が、その駅前の角の広場もそうですよね。確か噴水があったけれど今は止まってしまっていると思います。唐人町のまちなか広場も、昔、池のようなものを作っていたけど、結局今は泥を入れて、花を植えているというような状態ですので、駅の前に水景施設があるのは本当に、水の町でもありますからいいなと思うんですが、そこら辺の検討といいますかね。やっぱりずーっと使っていくっていうあたりの検討というのはどういう状況なのか、あればお示してください。

##### ○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

水景施設をなくすことも、もともと当初の検討の中に、基本計画、基本構想の中入っていたので、昨年度議題として取り上げた中で、なくすことも視野に入れて検討したいっていうことでお話を進めてきたんですが、やっぱり、水の見える空間、風景ってほしいなということで、今のところ、何をどういうふうにするっていう話ではなくて、水なんか欲しいねぐらいの感じで、残っているっていうふうに御承知いただきたいと思っております。

令和2年度に、何回かこういう有識者会議というのを開いて、もちろん、その間、皆さんのいろんな御意見をいただこうと思っておりますが、今、宮崎委員が言われたように、私はまちなかの水のところにずっと関わってきましたので、やっぱり故障とか、それから、汚れですね。そういう清掃の問題とかも含めて、やっぱり皆さんの負担にならないような、というか、せっかくつくったのに使えないようなものがないようにですね。

これも、本当にやる必要があるのかまで含めて、もう1回、1年間きっちり検討させていただきたいというふうに思っております。

○福井委員

今の考え方だと、この水景施設についての維持管理は、誰がどのような形にするかということについてはありますか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

まだ、この地域の維持管理をどうするかっていうのは、検討を具体的にやっているわけではないんですが、この地域全体として、このエリア全体として、誰かが維持管理をしていくというような考え方で進めていきたいというふうに思っています。

該当するのは、その土地の持ち主っていうのは、JR九州と我々佐賀市でございますが、この上に何かいろんなことを事業展開する方に、全体として委託をするというか、事業をお願いする、維持管理をお願いするとかということもあると思いますので、そういったことを含めて、今後、まず整理をしていく中で検討していきたいというふうに考えております。要は負担にならないようにというのは必ずあると思います。そこは考えていきたいというふうに思います。

○山下伸二委員長

よろしいですか。

また現地を見ますので、またその時にあれば、ぜひ現地でも質疑をしていただければと思います。

では、次に、市道三溝線の整備について、皆さんからの御質疑をお受けしていきます。

○白倉委員

先ほど御説明いただきました社会実験によって、車線を4車線から2車線にした上で、十分ゆとりがあるというのが資料2-2で示されておりますが、これに関しては、例えばサンライズパークのアリーナ、コンサートホール等々も含めた部分というのは、全く想像する世界であるわけですね、まだ実際には、今、稼働していないわけですから。その辺りのところはどういうふうにお考えでしょうか。実際、稼働した上での分析はどのように考えておられるかというのが1点。

○池田副室長

駅に來られた方が、公共交通機関としてのバスとか——バスは多分ピストン輸送で随分動くことになるかと思いますが——バスとかタクシーでありますとか、そういった公共交

通機関を使われるということは、もちろん十分ありますので、その分は若干増えるのではないかというふうに思いますが、駅方面からこの道を通って車でアリーナのほうに、アリーナで行われるイベントのために行かれるということは、そんなに多くあるとは考えておりませんので、そういったことを、計算の中に入れていっているのかというふうに言われると、入れてはおりません。

○白倉委員

今のところ、社会実験上では十分に余裕ある台数が示されておりますので、例えば、アリーナ利用者が南のほうから来られてこの三溝線を通られたとしても、今のところは余裕のあるところが示されているので、今後ちょっと注視していきたいと思います。

それと、三溝線のところの整備について、地元との話し合いの中で、いつも検討会だよりというのを自治会回覧等も含めて資料提供されていると言われているんですが、現在何回ぐらい検討会だよりを出されて——これ市側が作って出すわけでしょ。

(発言する者あり)

何回か出されていると。

(発言する者あり)

それと、できればその資料を請求したいと。我々もちょっと見たいので、そのお願いでございます。

○池田副室長

さっき毎回と申しあげました。平成30年度に5回やりましたので、5回出していると思います。

それから、昨年度は4回ありましたので4回、回覧物として、地元の自治会のほうに差し上げているというか、回覧してくださいということでお出ししておりますので、それを出すのは大丈夫だと思いますが。

○山下伸二委員長

はい、今、資料の2の1のところにあります、下の右側の市道三溝線整備検討会だよりですか。これについては、資料請求の申し出があっただけでも、これは委員会として請求することよろしいですか。

(発言する者あり)

これはペーパーではなくて、PDFでいただければ、サイドブックスのほうに上げさせていただきますと。よろしいですかね。PDFで大丈夫ですか。

そしたらサイドブックスに上げさせていただきますと、ペーパーでの配付はしないということで御理解いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、すぐ資料は出せますか。

(発言する者あり)

お願いいたします。

それでは、本日、事務局のほうに提出いただけるということですので、本日提出後、サイドボックスのほうにアップをお願いいたします。白倉委員、よろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○御厨委員

2点お願いいたします。

ここは駐車禁止、路上駐車禁止になるのでしょうか。というのが、自転車道路が広いので、路側帯の感覚で車をとめる方がいらっしゃるんじゃないかと。そうなったら、自転車は車道に避けなければいけないので危ないかなと思うので、駐車禁止になるかというのがまず1点。

それと、右折レーンっていうのがゼブラ帯と書かれていますけど、これは導流帯のようなゼブラ帯になるのでしょうか。何かここが右折レーンだよっていうのがわからないと、何も知らなくて導流帯を踏まない方が多いので、結局、普通のレーンで右折待ちをする可能性が大きいかなというのが懸念されます。何かそこら辺のアイデアがあるのか教えてください。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

まず、駐車禁止の話なんですけど、最終的にはもちろん警察と協議してということだと思いますが、そもそも今も駐車禁止ですので、駐車禁止のままの話になるというふうに思っております。もちろん、自転車通行帯に駐車されては元も子もありませんので、そういうことがないようにしたいというふうに思っています。

それから右折レーンですが、ゼブラ帯というのは、途中のところはゼブラになりますけど、右折レーンは、交差点が近づいてきたらそこは右折レーンになるというふうな形で、これも渋滞解消のために右折レーンを設けるといような形で考えておりますので、右折レーンは右折レーンで、大体今4車線ありますが、歩道に使うのは、おおむね歩道、自転車道に1車線ぐらいつぶして使って、3車線を右折レーン用のレーンですね。途中がゼブラ帯になったりもしますが、右折用のレーンで、あと上りと下りに1車線ずつと。そういう配置をするというふうに考えていただければというふうに思っております。

○御厨委員

大体わかったんですけど、そしたら具体的には、要は、さっき私が言ったような導流体のような感じのゼブラが入って、曲がる場所には矢印とかが入ることですか。一目見てわかる形になるのでしょうか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

そのつもりです。

○山下伸二委員長

この資料だと、そこら辺が非常に見えにくいですよ。全部がゼブラ帯になるようなイメージなんですよ。

例えば、2の5の資料の真ん中のところ、これは左側のところがきれいに切ってあって、

右折レーンが絵として書いてあれば、そういう疑問も出ないのかなと思うんですけども。そういうそういうことですよね。だから、こういったところはちゃんと右折レーンは右折レーンとして整備をされるということですね。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

右折レーンをつくるためのゼブラ帯ですので、ちゃんと右折レーンをつくります。

○重田委員

済みません、2点お願いします。

前にも言ったと思いますけど、朝、アパホテル前、今の四車線でいつもタクシーがとまっています、車線変更が大変なんです。2車線になったとき、その対応はどうするのか。

それとあと1点、緑地体のようなものを結構つくられるみたいなんですけど、古湯温泉も地域でちゃんと管理するというお話をされてやったんですが、あとは藪のようになっているというのがあるんですよね。そういう部分は、自治会長さんたちは、ちゃんと初めの気持ちはやる気充分なんですけど、それが変わったら、どうしてそこまでしないといけないのっていう話になってくるので、その辺の決め方についてお伺いします。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

まずアパホテルの前についてです。私もしょっちゅうあそこを通っており、非常に困ってはいますので、これを機に警察としっかり協議し、やっぱりもうあそこにとめられたら、車が本当に通れなくなりますので、1車線になったら通れなくなりますので、違法駐車はされないように、警察ともしっかり協議をしていきたいと思っております。

それから緑地帯ですけど、これは植栽するということを前提に、地元とも話をしています。管理も、一斉に落葉するような木を植えると、多分、管理とかがすごく大変になってくると思いますので、樹種をどうするかっていうところも、地元の方が管理しやすいような樹種の選定とか、そういうことを今後やっていくと、やっていこうというふうに考えておりますので、そこは古湯温泉のどこあたりかがどうやったのかわからないんですけど、管理が行き届かなくて、醜い道路になるようなことがないようにしたいというふうに思っております。

○重田委員

アパホテルの前は、警察と協議するという事なんですけど、警察ばかりじゃなくて、アパホテルとも協議するべきじゃないかなと思うんです。やっぱりその辺はちゃんとしておかないと、警察がいるときは退くけど、結構テイクアウトで、9時から10時ぐらいにかけて非常にとまっているなど思うんですけど。それと、チェックインね。そういう部分で、お話し合いをちゃんとしなくちゃいけないんじゃないかなと思いますけれども。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

おっしゃるとおりで、そういうふうになりたいというふうに思います。

○宮崎委員

今報道等でもあっておりますが、佐賀市が国スポ、最初のスタートっていうことだったん

ですけど、このコロナの状況で、もしかしたら栃木大会が1年遅れて、栃木大会が最後の国体と言われていたのが、結局佐賀が最後の国体になるかもしれないということで、国スポの……逆か。とにかく佐賀が、コンセプトが変わるかもしれないというような話が出てきているじゃないですか。そういった中で、この三溝線が、もし変わったとしたら、やっぱり少しこの整備状況とか、コンセプトに沿って考え直すというつもりなのか、そこら辺を。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

多分、国スポの第1回目か第2回目かということで、変わるということはないというふうに思います。

やっぱり歩いて、アリーナに向けて皆さんに歩いていただきたいというコンセプトが全部変わることはないと思いますので、それは影響はないというふうに思っています。

○山下伸二委員長

その辺についてですね、正副委員長で話をしたんですけども、いろいろ報道等でもあっています。そういった状況の変化はいろいろあると思いますし、そういったことが整備にどういうふうにかかってくるのか、これについてはしっかりと情報提供を受けながらやっていきたいというふうに思っていますので、今日、終わった後の委員間討議の中でも、次回以降の調査項目について委員間討議をさせていただきますので、その辺でまた皆さんから御意見をいただければというふうに思います。

三溝線の件でほかにございませんか。

それでは最後に、佐賀駅南口の暫定駐車場の運営状況について、皆様から御質問をお受けしたいと思いますけども。

(発言する者あり)

これは、工事が大分進みましたので、駐車可能台数が増えていますよね。何台くらい増えていますか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室参事兼推進係長

拡張した部分で36台増えております。

○山下伸二委員長

わかりました。

ほかにも、全体を通して皆さんから何かございませんか。

ないようでしたら、佐賀駅周辺整備事業に関する説明を終了いたしまして、この後、コムボックスの外観並びに、佐賀駅周辺のほうの視察を行いたいと思います。

帰ってきた後、委員間討議だけになっていますけども、帰ってきた後、執行部の皆さんには出席していただく必要ありますか。

(発言する者あり)

見てみないとわからないですよ。余りですね、現地で個別にやったことについては議事録として残せないものですから、もちろんその現場で質問とかやりとりはしていただいて

結構なんですけども、全体的にもう一度、委員間討議を行う際にできれば執行部の皆さんにもまた出席いただければと思いますので、時間的には大丈夫ですか。

はい、それではそのつもりでお願いいたします。

今、時間が 10 時 37 分ですので、45 分集合でよろしいですか、議会棟前に。よろしいですか。

では、45 分に集合をお願いいたします。

◎佐賀駅周辺の現地視察

○山下伸二委員長

それでは、特別委員会を再開いたします。

引き続き執行部の皆様にも御出席をいただいておりますので、先ほど行ってきました現地視察について、皆さんから何か御質疑があればお受けをしたいというふうに思います。

○白倉委員

現地でもちょっと立ちながら伺ったんですが、ちょっと今ここ正式な会議ということで、以前から我々も気がけておりました駐輪場スペースですね、前回の会議の折には、地権者と相談して駐輪場スペースは必ず確保しなければいけないというふうなことだったんですが、先ほどの現地に入りましたら、あの面積で大体駐輪場も——バイクも駐輪ですから、共に考えているというようなことでしたから、どれぐらいの台数っていいですかね、以前、東側にあったときは結構広かったんですよ、駐輪場スペースっていうのが。まあ、地元の人のお買物の足ってというのはやっぱり自転車が多いでしょうから、今何台分ぐらいあれで確保できていて、それで十分なのかどうか。

それともう 1 点、料金設定、佐賀駅の駐輪場は有料なんですね。こっちのほうはどういうふうに考えておられるのか、有料にして何らかの手当てをするのか、もう無料にするのか。駅との関連性とか、そのあたりをちょっとお願いします。スペースが十分かどうかとか。それと有料、無料。

○山下伸二委員長

白倉委員、ごめんなさい。駐輪場って、どこの駐輪場の件ですかね。

○白倉委員

今のコムボックスの。

○山下伸二委員長

コムボックスの駐輪場ですよ。

○白倉委員

コムボックスの西側に駐輪スペースが造ってあったんですよ。先ほど現地で説明をもらいました。

○山下伸二委員長

コムボックスの駐輪スペースですよ。

○白倉委員

そうです。

○山下伸二委員長

コムボックスの駐輪スペース、わかりますか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

現地で担当が若干御説明をしていたと思うんですが、コムボックスの駐輪場というのは、要は大店立地法に定められた駐輪施設ということで、西の南、コムボックスの建物の西の南のところに30台ほど確保されております。おそらく、今の自転車を多く使われるという佐賀市の状況からすると、不足する可能性はあるなというふうに思っています。

それからあと、駅とか周辺の利用者のことも考えて、本当に今の駐輪スペース、駅周辺で造っている駐輪スペースで足りるかどうかっていうのは、若干その懸念は持っていますので、駐輪場につきましては、前の委員会とかでもお話をしたと思うんですが、やっぱりきちっと考え直して、場所をきちっと確保して、必要な台数を確保していかないといけないかなというふうには考えておりますが、今具体的にどこでどれだけの台数をどのようにやっていくのかというのは、ちょっとお答えできる状況にありません。

それから、先ほどの料金の話です。駅周辺は全部、有料になっていると思うんですが、コムボックスの駐輪場については、私たちが把握している限りでは、多分、有料ではないというふうに思っております。

○佐賀駅周辺整備構想推進室参事兼推進室長

無料で準備されているということで以前お伺いをしていたんですけども、周辺の市営の部分とかが有料でございますので、ちょっと、考えていらっしゃるっていうことは聞き及んでおります。

○山下伸二委員長

コムボックスの駐輪場ですからね。佐賀市のほうでどこまで把握されているかわからないんですけども、いずれにしても、佐賀駅周辺で駐輪スペースが不足するというのは間違いないと思うんですよね。その辺について今、池田副室長のほうから話があったんですけども、具体的にですね。以前は、南口の駐車場のところに駐輪場、二輪スペースがかなりありましたよね。自動二輪も含めて結構ありましたよね。そこら辺についてはどうですか、考え方は。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

今お答えしたのがまさにそういうことで、実際のコムボックスのところの駐輪場が30台あって、恐らく不足するだろうと。それが外にはみ出して、駅の、せっかく今から整備する駅の南のところを阻害してもらおうと困るなというふうな思いがありますので、そういったことも含めて、あの一帯でやっぱり必要な駐輪場の確保っていうのは必要っていうことで、今、我々の中で検討は進めております。おそらく不足するだろうと。それはワークショ

ップなんかをやったときにもやっぱり駐輪場のことを、御意見としてはすごくたくさんいただきました。私たちはそれには応えないといけないというふうに思っていますので、今から整備していくに当たって、駐輪場というのは整備していく必要があるというふうに考えております。

#### ○平原委員

現地でもちょっとお尋ねしたんですけど、ちょっと景観の関係なんですけど、電線の地中化ですね。アパホテルのところまでは地中化が進んでいると、されているというふうに聞いたんですけど、それから北のほうですね。その方向性とか、そして今どういう協議になっているのかということ等、その辺をちょっとお尋ねしたいと思います。

#### ○江口道路整備課長

電線の地中化ですけれども、今おっしゃったとおり、駅の北口からアパホテルまでは、もう地中化が済んでおります。それから北の部分、264号線までがまだ整備していないところなんですけれども、地中化について電線管理者とずっと協議を進めておりました。その中で、昨年度末に電線管理者と合意が整いましたので、今度の補正予算で委託費を計上させていただいて、地中化の整備を進めていきたいと考えているところです。

#### ○重田委員

駅の北口ですね。先ほど現地視察のときにも言いましたけど、電車の送迎で、結構雨の降ったときはもう車が動かない状況というか、そういう部分ができるんですよ。それについて、その対策として北側に駐車場を置くってということなんですけど、雨が降ったときはなかなか——もうそこまで雨よけか何かあったらいいんですけど、なかったら、どうしても駅のすぐ北のほうで乗降されるということになると思うんですよ。その対策について何か考えられていますか。

#### ○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

駐車場に車をとめずに、乗り降りするときについていう話ですから、今回の北の南もそうなんですけど、自動車関連の駅周辺の整備っていうので、今降り場とか乗り場とかがきちっとしているわけではないんですね、タクシーにしても。タクシーは一応、降車場っていうのは看板が立っていますが、実際そのスペースが確保されているわけではなくて、やっぱりその移動する人と移動する車と、それから、乗り降りされる車っていうのがかなり混在して、動きにくい状態になっているというのが今の状態ですので、降り場、乗り場っていうのをきちっと確保したいというふうには思っています。

乗り場のところに、屋根がついているタクシー乗り場のところには、屋根が若干つくような形になりますけれども、そういうことで、要は、乗り場、降り場っていうところをきちっと確保したいというふうに思っていますので、そういうタクシー乗り場、降り場と、それから、自家用車乗り場、降り場っていうのは確保したいと思っていますが、そこに、屋根がつくかということ、そこまではするつもりはない、今のところ予定されておりませんので、そこ

はスムーズに、これまでよりもスムーズに乗り降りができるということで、そこを上手に御利用いただければというふうに思っております。

○山下伸二委員長

きょうの資料のですね、1の1のところに、北口と南口のところにタクシー用と、あと送迎車用とありますね。これ、済みません、タクシーと送迎用、北口と南口どっちがタクシー用でどっちが送迎用か御説明いただけますか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

北側で、北口のところで説明しますと、駅から出たすぐのところに3台分くらい白い四角い升が書いてあると思うんですが、済みません、1ページ、表紙をめくったすぐのページなんですけれども、その北口のところに書いてある、3台分くらいスペースが書いてある、1台ちょっと空いているような感じに見えるんですけど、そのところがタクシーですね。それから、左のほう、西側の所になりますが、そのところに3台分スペースを取っている、これが自家用車の分というふうに……

○山下伸二委員長

南の方は。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

南で言いますと、南はですね、北のほうですね。駅南口の北側の方、駅にくっついているところに5台分のスペースを書いてありますが、これがタクシーです。それと東のほうですね。この右のほうといったらいいんですか。駐車場が下のほう、南のほうになるんですよ。今、南口の話をしていますが、南口の自動車のところで言いますと、南のほうに駐車場があるんですけども、そのすぐ上の、この駐車場、タクシープールって書いてあるところの右側の所に3台、升が書いてありますが、そこが自家用車の乗降場というふうに考えております。乗降場というか、降りるところはここですが、乗るところは駐車場のところで皆さん乗られるかなというふうに思います。

○山下伸二委員長

そこに屋根がという話だったんですけども。

○重田委員

それは、その気持ちっていうのはわかるんですけど、実際、今、送迎される人を見ていると、何かな、身障者用とかタクシー降り場付近でそういうのをやられているんですよ。そういうふうにならないように、何か手だてを考えておかないと、あくまで私たちは考えていますって。ただ、雨とか、いろいろ考えたとき、屋根がなるだけついているところで降ろしたいねと皆さんたぶん思うんですよ。そういうとき……

(発言する者あり)

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

ですから、南口の広場のところは、今の予定ですと、駐車場のところまで行くアプローチ

のところは屋根をつけることにしています。

ですので、乗用車を乗り降りされる方も、駐車場のところに行かれるところでもですね、屋根はついてます。

(「北は」と呼ぶ者あり)

北は、タクシーに乗るところには若干屋根がつくんですけれども、北は、さっき言いましたタクシーを降りるところですね、駅のすぐ北側のところになります、3台書いてあるところは、もう既に駅から出ている屋根がついているところの部分ですので、ここは余り雨にぬれることはないと思いますが、自家用車の乗り降り場は、左手のほうになりますので、このところに屋根はございません。

○山下伸二委員長

ございます、ございません、どっちですか。

○池田審議官

ございません。左側のほうはですね。

○重田委員

それも検討すべきじゃないんでしょうか。

○山下伸二委員長

その辺について検討すべきじゃないでしょうか、検討の余地はありますかということですが。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

考えていることはあるかもしれませんが、基本的にはもう、雨の日にどうしても傘とかをさせない云々の場合には、南側の駐車場を御利用いただきたいというふうに思っていますので、やっぱり、北側のところに、あえてこのホテルとの間に屋根をつけるっていうふうには、ちょっと考える余地は、今のところはないかなというふうに思います。

○山下伸二委員長

今のところ考えていないと。

今、南口の屋根というのは、J R佐賀駅の南口を出て、芝生広場とタクシープールの間に屋根をする感じですかね。だから、そのイメージなんかもあれば分かりやすいですけどね。

○福井委員

これは直接、整備事業の所管にはないわけですけども、コムボックスの現状というものについては、やっぱり一応ちょっと私たち、整備事業の取組みの中で、ある程度情報をきちんと統一しておきたいと思うんですが、6月オープンという話でしょ。日程等も含めてその辺が、改めてもし御報告できれば、私たちのほうに御説明いただければと思いますけど。

○山下伸二委員長

今日の新聞報道でもあっていたので、佐賀市のほうで把握している分について、コム

ボックスの状況について、別御説明をお願いします。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

私たちが今申し上げられる範囲でお伝えしたいと思うんですが、コムボックスの1階につきましては、6月中にオープンしたいということで、今最終的にその日程の調整をしていると御理解いただければというふうに思っています。2階の施設は、多分、おおむね決まっているのではないかなと思うんですが、なかなかその施設をつくられている大和ロイヤルのほうからの正式なお答えを、私たちも何度も会うたびにお伺いしているんですが、今どういう状況にあるというのは、正式にはお伝えいたしておりませんが、聞き及んだところによると、もう、空気がたくさんあって困っているというような状況ではないというふうにお伺いしています。1階のオープンに合わせて2階がフルオープンするということは多分難しいかなと。コロナで随分遅れているっていうお話は聞いておりましたので。ただ順次、オープンしていくのではないかなというふうに思っております。

○山下伸二委員長

よろしいですか。

○富永議員

済みません、コムボックスのテナントのことですけれども、今朝の佐賀新聞にもあったとおりに、全て決まっていることを言うのはあれなんですけど、ドラッグストアとかですね、100円均一とかが入っていたというふうに書いてありましたけど、今佐賀駅周辺で結構ドラモリとかもたくさんありますし、また、駅のデイトスの中にもあったりして、そういう競合他社が入ることに対しての意見とかそういうことは出なかったのでしょうか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

伺ってないですね。

変な言い方になるかもしれませんが、やっぱり年間1,200万人ぐらいの方がいらっしゃる、駅周辺だけでもいらっしゃるの、何社か成り立つぐらいのまちになってくれればというふうには思っています。

○御厨委員

コムボックス関連なんですけども、中に観光案内所とあと、JAの、何ですか、カフェができるというふうには伺っておりますが、そこに対しての直接のアプローチが、北側に入出口ができるのかなと思っていたら、なかったんですね。もうあれは、もう、あのままの施工でいって、結局、動線的には、NBCラジオ佐賀の前の入り口から入るしかないっていうことになっているんですかね。今の工事の状況を見たらそのように動いていましたけど、その辺を教えてください。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

基本的には、やっぱり、前の西友のときと同じように東西を抜けていただくような、お買い物もやっぱりしていただきたいですし、買い物のお客さんが、コムボックスの1階の建物

の中を通ってですね。買い物のお客さん、それから、観光案内場、カフェとか、そういうところを御利用いただきたいというのが、つくりとしてはなっております。

ただあと、若干北側外の出入り口のところについてはちょっと、担当から。

○佐賀駅周辺整備構想推進室参事兼推進係長

北側のほうに、ちょうどガラス戸になっていたところがあったかと思うんですけども、あそこ辺りが観光案内拠点の配置になってまいります。

ですから、施設そのもの、コムボックスという建物そのものに入るっていう意味よりは、観光案内拠点の出入り口的な使われ方になるっていうふうには伺っております。

○御厨委員

観光案内所に対して、北側から直接のアプローチはできないですね。

今日見たら、もう既に段差があって、植栽するような形になって工事が進んでいましたけど、あそこに階段なりスロープなりが設置されるっていうことでしょうか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室参事兼推進係長

段差がある状態での出入りになります。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

北側のところ、随分出入り口との間に段差がありますが、あそこにデッキをつくるっていうことで今話が出ています。そこから出入りできるようには、観光案内施設に対しては、入るようにはできるというふうにお伺いしております。

○中村委員

雨の日の関連なんですけど、ちょっと私も心配しているところもあるんですが、歩く人ですね、数が増えていけば、今の南口、北口の排水対策といいますか、それとバリアフリーも含めて、下のほうの歩く歩道も含めてですね。何か滑らないような対策ですとか、そういったところは考えてあるんですか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

人が歩く部分につきましては、素材として、滑らないような素材を工事の中で採用していきたいと考えております。

○中村委員

去年は豪雨もありましたけど、そこら辺の絡み等も含めて、何か排水、防災関連もちょっと関わってくるのかもわかりませんが、わかる範囲で、お答えをお願いします。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

基本的に駅前広場の排水が西と東に分かれていまして、西は先ほど御覧になった広場の西側に水路があります。東は市役所の西に水路が、暗渠があるんですけど、そちらのほうに流すような仕組みになっていまして、基本的にはそこで受けた、広場でうけた面の雨をそちらに流すっていうことしかちょっと今のところ、対応ができないので、その排水経路はきちんと確保していきたいと考えています。

ちょっと、それ以外に何かその地下にためるとか、そういったのはちょっと、費用対効果も含めて今のところ考えておりません。

○白倉議員

今後のスケジュールについて改めてちょっと確認したいんですが、まずは北口整備ということで、今現在、入札中、6月12日に開札というふうにお聞きしましたがけれども、ちょっとこれに関して、そのあとですね、開札した後のスケジュールですね。

それと、コムボックスとも切っても切り離せないの、駐車場の関係でですね。その開業のときと時期的なもの。工事に入る時期とか、その辺のところ、今わかる範囲のところ、業者に対して市が示している、そこをちょっと教えていただけますか。それが1点と、それと北口広場が終わってから、南口の交流広場っていうのを、次、令和2年の末から令和3年にかけてと説明されましたけれども、改めて、応札すると業者が、例えば北口を取ったところがまた南口を取るっていうこともありうるかと、その辺ですね。何というか、設計の関連性もあるでしょうし、そのあたりの考え方と今後のスケジュールをちょっとお願いします。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

北側から工事に入っていくということで申し上げましたけれども、北口の広場のところは、さっき言いましたように6月12日に開札ですので、業者が、これでうまく決まってくれば、その後、やっぱり皆さん方に周知——やっぱり駅ですので、駅利用の方たちに、こうやって工事が始まりますということをきちっと周知しないといけないという周知期間とか、そういうことも設けさせていただいて、実際工事にかかるのは、早くて8月中かなというふうには考えております。さっき申しましたように、北口をできる限り早く終わらせて、南口のほうに入りたいと思っておりますが、準備期間を入れて実際工事に入るのは、やっぱりどうしても年度明けてから、令和3年度になると思います。

南口の南側の工事につきましては、南側の西のほうの交通のほう——駐車場とか、自家用車の駐車場とかタクシープールですね、あちらのほうから先に工事に入って、あとその東側になりますいわゆる交流広場のほうに、その後入っていくっていうようなスケジュールで進めたいというふうに考えております。

○山下伸二委員長

業者は。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

業者につきましては、全く別工事でございますので、その都度の入札ということになります。

○白倉委員

それで、周知っていう言葉も出たんですけども、周知期間を置くから8月中に工事にかかるぐらいということで、今日見せていただいた駅構内の西側のスペースに模型が置いて

ありましたよね。あれは県のスペースだから無料で借りているというふうにはちょっとお伺いしたんですけども、周知という意味において、あれをもっと人目につくところといいたいかね。その辺はどうなんでしょうね。あそこはもうほとんど人目につかないといいたいかね。そのあたりはどういうふうにご考えておられますかね。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

通りがかりの人に見ていただくというような場所ではないと思っておりますが、コストをかけずにやっているということと、それからやっぱり、そこで話し合いとかですね、皆さんに集まっていただいて議論する場としては非常にいい場所だなというふうに思いましたので、あそこを採用させていただいております。

今日、マスコミの方が結構あそこで写真とかをとっていただきましたので、今後、そういうのが新聞とか、テレビとかで取り上げられますと、そちらを見に行く方も増えてくると。その分いたずらにも来るかもしれません、そういう皆さんに知っていただくことを繰り返していくと、その利用も増えてくるのかなというふうに思っておりますので、皆さんから見えていただくような仕掛けというのは、こちらのほうで進めていかないといけないと思っておりますが、場所を変えるっていうことは考えておりません。

○白倉委員

駅構内のテナントなんかをずるっと周遊するような一つの導線にもなりうることもよく考えればありますので、ぜひぜひ、周知とPRをお願いしたいということを要望しておきたいと思っております。

○永淵副委員長

質問をさせていただきます。

まず一つは駅の南の広場ですね。先ほどもあった水景施設の件での質問なんですけれども、つくることと管理ということで宮崎委員もおっしゃっていたんですが、例えばこころぎの森ですね。県のあそこもずっと噴水施設が老朽化していてあまりということで、一旦削ってフラットにして、人が滞留するように水がフラットな床面から出るような施設、また納涼という意味とか管理もしやすいとかという意味でそういう展開をされたところがあったんですけど、まず、そういうもののほうが人もいっぱい滞留していいのかなと思うんですが、そういう御意見とかが会議の場でも出たりしたのかっていうのをお聞きしたいです。

で、もう一問はですね、先ほども通り沿いで話をしたりもしていたんですが、いわゆるそのオブジェ関係ですね。今まで置いてあったオブジェ関係ですね、南も北もありました。あと、映画のロケ地になったということで、看板等もありました。このあたりは今後どうなっていくのか、今の考えをお聞かせください。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

よその事例というか、ということに対するコメントっていうのはちょっとあれなんですけど、意見としてあったのは、やっぱり水は何らかの形で、水の見える風景っていうのは残し

てほしいというのは、有識者会議の中では出ました。

宮崎委員がさっき言われていましたように、やっぱり管理のことがあるので、水っていうのは、非常に慎重に持ってこないといけない。あそこに水がある必然性がないんですね。それをあえて引いてくるのはやっぱり、故障とか何とかで実際下から水が少し染み出してくるような仕掛けっていうのは、東京駅のところにありますが、やっぱり、子どもが転んだりとかなんとかいろんなことがあったということですが、佐賀市が浸水のイメージをするような水っていうのは、僕は嫌だなというふうに思っているんですけど、そういうことも含めて、有識者会議の場でいろいろ議論をしてきました。今のところまだ最終的に結論が出てないので、ただ、水はやっぱり何らか欲しいっていうのは、何人かの委員がおっしゃったことですので、これをもう1回しっかり詰めていきたいというふうに思っています。

詰めるに当たっては、やっぱり、故障とか何とかが起きないようにとか、やっぱり汚れたりして、結局管理が行き届かなくて、だめな施設にならないようにということを一番に、議論の中ではやっていきたいと思えますし、今日いただいた御意見というのは、議会の御意見ということで、有識者会議の中でも御披露させていただきたいというふうに思っています。

それからオブジェ関係なんですけど、基本的には一回全部、撤去したいというふうに思っています。その後、どこかふさわしい場所があればそちらに持っていくとか、撤去のままいいのはもう撤去しようかというふうに思っていますので、とりあえず今回、真っさらのところ、整備を行っていききたいというふうに思っています。そういったオブジェ関係については、とりあえず一旦は撤去したいというふうに思っています。

いろいろ検討を問われているところもございましてそういったことについては、設置場所とか移転場所とか、そういうことについて考えていっておりますが、今のところは、一旦は撤去したいというふうに思っています。

○永淵副委員長

はい、2問目はわかりました。

1問目の件をお伝えしたのは、やはり福岡のキャナルシティでもそうですし、佐賀県のそういうほかの施設では、やっぱり子どもたちと親御さんがそこに出てきて、そこで水と触れ合うというような形で、人の姿が出てくるところもあるので、できれば、そういう触れられるようなもののほうが、にぎわいづくりという点では、駅前ですから、そういう視点というのは、先ほどもおっしゃったようにお伝えしますということでしたので、ぜひお伝えいただければと要望としてお伝えします。

○山下伸二委員長

水景施設は、かなり質問が出ているんですけども、今から検討を行うということですが、大体いつぐらいをめどに具体的なイメージが出てくるかと思っていただければいいですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

年度内でまとめたというふうに思っていますので、今年度、ちょっと、こういったコロ

ナ関係で会議を開けないでおりますので、夏から秋にかけて1回目を開いて、できれば、年度内に2、3回開いて、その中でしっかり議論したいというふうに思っています。

○福井委員

水景のことは、さっきもまた管理とか何とかっていうこともありましたけど、この場所に中途半端な大きさのもので、適当なちよろちよろっていうようなものは、私は逆につくらないほうがいいんじゃないかと。やるならきちんとしたものを、やっぱり思想的に伝えるようにしないと、そう広い場所じゃない中に適当にやるという形は絶対やめたほうがいいと思います。佐賀市全体が、いろんなもので水というものをやっぱりベースにした物をつくられていますので、駅前に置くことの意味合いと、そして今、副委員長が言ったようなことを含めて、皆さんがどう絡んでいくかということ、導線も含めてよく検討してもらいたいと思います。ぜひよろしくをお願いします。

○山下伸二委員長

何か、コメントありますか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

1年ありますので、皆さんが納得していただけるような、つくるにしてもつukらないにしても、どんなものをつくるかまで含めて、市民の大方の皆さん方がそれならいいねってような、そういう納得いただけるような議論をしていきたいというふうに思っています。

○山下伸二委員長

そういった具体的な水景施設とかオブジェとか、それから屋根の関係とか、ずっと計画とか作業が進んでいくと、具体的にいろんな意見が委員の皆さんから出てくると思いますし、検討会の中でもそういった意見が出ているということについては、ぜひお知らせいただければというふうに思います。

ほかによろしいでしょうか。

そうしましたら、一旦執行部の皆さんは、御退室いただいて結構でございます。お疲れさまでした。

◎執行部退室

○山下伸二委員長

それではお疲れさまでございました。

これから委員間討議を少し行いたいと思うんですけれども、今後の委員会の進め方ですが、本来、実は、今日、佐賀駅周辺と三溝線を歩いて、そしてサンライズパークまでということで、県のほうにも現地対応のお願いをしていたんですけども、御存じのとおり4月20日から延期させていただきました。それで、今日は、佐賀駅周辺だけに絞らせていただきました。といいますのも、6月末に、コムボックスがオープンしますので、コムボックスがオープンした後に、1週間、2週間とか1か月とか、そういった時期を見た上で、三溝線を通して、サンライズパークのほうに歩いて、サンライズパークの現状について、次回現地視察

を行いたいというふうに思っております。

また、執行部のほうからいろんな報告が来ましたら、その時点で、特別委員会を開催するなり、皆さんと意思疎通を図っていきたいと思っておりますけれども、今後の進め方について何か皆さんからございましたら御意見をお伺いしたいと思っております。そういった考えでよろしいでしょうか。

(発言する者あり)

それから、先進地視察についてなんですけれども、いま代表者会議のほうで今年度の予算、視察費用を返上したらどうかという意見が出ていますが、特別委員会、私どもはもう来年4月、5月ぐらいから実はまとめに入らなくてはなりませんので、できれば今年度中に、視察に行っておきたいなという思いでございました。

それで、これはまだ少し時間がありますので、サイドブックスの視察の項目に、先進地の視察の候補地の資料を入れさせていただいています。九州と、あと広島、何か所か入れさせていただいています。

これも議会全体として、今年度の視察を取りやめるかどうかというのがありますけれども、もし、できるのであれば、正副委員長で話し合っているのは、やっぱり10月ぐらいには特別委員会として視察をしておかないと、来年度、新年度に入ったらまとめに入りますので、そういった意向をもっておきたいということで話をさせていただいています。ただ、時間がありますので、もう少し時間がありますので、視察の候補地を見ていただいて、やっぱり、これ今年度とか早目に行っといたほうがいいねとかあれば、ぜひ次回以降の委員会で、皆さんからの御意見をお伺いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

視察の件で何かありませんか。もう行ったほうがいいのか、行かないでいいのか何か。

◎先進地視察について委員間討議

○山下伸二委員長

見てもらうとわかりますように、バスで行けるようなところを、実は九州、近いところで視察項目として挙げています。行っても、新幹線で広島とか、そこら辺を入れていきますので、ぜひ中身を見ていただいて、こういうところは行ってみたいなという御意見があれば、また、次回以降にいただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それではこれで第3回の佐賀駅周辺整備調査特別委員会を終了いたします。